

岩谷時子先生

鮫島有美子さんの澄んだ情感のきらめく理知的な歌声と、先生の詩の世界。その出遣いはとても自然です。

先生のお書きになった膨大な数の作品の中から、いつでもそらで歌えるくらい好きな歌ばかりを、僕の頭の中の劇場で鮫島さんに歌って頂き、中でもとても素敵だった歌たちを、気持ちの良い流れに並べてみたら、こんな音楽会ができました、とても自然に。

1幕が先生のオリジナル曲の数々から。

2幕はシャンソンを中心に訳詞の世界を(1曲だけ例外はありますが)。

とても自然にそうになりました。そして驚きました。何という自由な広がり!怖いほどの深まり!制約の多いお仕事なのに!オリジナル曲では歌い手を生かし、合わせ、引き出し…何よりヒットさせなくてはならない!訳詞には原詞という絶対的な制約がある!そんなことを微塵も感じさせない「岩谷時子の世界」は、どのようにして生まれるのでしょうか?

さまざまな歌い手たちと魂を響かせ合い、越路吹雪さんを通して、フランスやアメリカの詩人の魂たちと語り合う。しなやかに、でも一歩も後へは退かず。先生は、それを楽しんでこられたのですね、とても自然に、永い年月。

鮫島さん、宮川さんと一緒に、いつも控え目な先生の魂の奥底の声を、お客様の魂に強く響かせたい。そう願って、この音楽会をつくりました。怒らないで下さいね。いつもより、ほんの少しだけ強く、ですから。

青井陽治

岩谷時子(いわたに ときこ)

1916年生まれ。神戸女学院大学部英文科を卒業後、宝塚歌劇団出版部に入社し、当時タカラジェンヌだった越路吹雪と出会い意気投合する。以降、越路が宝塚歌劇団退団後も彼女をサポートし、越路が死去するまでの約30年間、マネージャーとして支え続けた。この間、「サン・トワ・マミー」や「ラストダンスは私に」など越路が歌うシャンソンの訳詞を手がけたのをきっかけに、作詞家、訳詞家としても活躍し始め、ザ・ピーナッツ「恋のバカンス」、加山雄三「君といつまでも」、ピンク・キラーズ「恋の季節」、岸洋子「夜明けのうた」など数多くのヒット曲を生み出してきた。2009年、平成21年度文化功労者顕彰。2010年、岩谷時子賞創設。

鮫島有美子 Yumiko Samejima (ソプラノ/Soprano)



東京芸術大学声楽科、および同大学院修了。安宅賞受賞。

1975年、二期会オペラ「オテロ」のデズデーモナで主役デビュー。その後ドイツ政府奨学生としてベルリン音楽大学に留学。1982年よりドイツ、ウルム歌劇場の専属歌手として種々の大役を演じてきた。

1985年、「日本のうた」でレコードデビュー。1995年シェイクスピア作「オセロ」のデズデーモナ役で平幹二郎、村井国夫らと共に、クラシック歌手の枠を超えた意欲的な挑戦をし、その大役を果たした。

2005年、演劇界の鬼才、栗山民也演出によるオペラ「夕鶴」では、オーケストラピットを使用しないひとときシンプルな舞台で「つう」を見事に歌い演じ、更なる高い評価を得た。2008年1、2月には好評につき「夕鶴」を再演。最近ではオペラへの出演や夫君ヘルムート・ドイチュとのリサイタル・ツアーの他、コンサートのMCや宮川彬良氏とのコラボレーションのステージなど、その活動の幅を広げている。

二期会会員。洗足学園音楽大学客員教授。

宮川彬良 Akira Miyagawa

(作・編曲・ピアノ/Compose, Arrangement, Piano)

作曲家・舞台音楽家。東京芸術大学在学中より劇団四季、東京ディズニーランドなどのショーの音楽を担当。その後、数多くのミュージカルなどを手掛け、舞台音楽家としての地位を確立。代表作に『ONE MAN'S DREAM』、『マツケンサンバII』、『身毒丸』、『ザ・ヒットパレード』などがある。一方で演奏活動もめざましく、「宮川彬良&アンサンブル・ベガ」、「アキラさんとまこと君 ふたりのオーケストラ」、「未来の音楽授業!アキラ塾」、「宮川彬良&大阪市音楽Dahhhhh!」[「コンチェルトンテII」]などを中心に、全国でコンサートを行っている。自身で作曲、編曲、指揮、ピアノ演奏、解説を行いながら進めるコンサートは、定評がある。また、2003~10年NHK教育テレビ「クインテット」、09~10年NHK-BS2「どれみふぁワンダーランド」の音楽を担当、出演。11~12年NHK-BSプレミアム「宮川彬良のショータム」では、自ら企画も手掛け、好評を得た。

<http://akira-miyagawa.com/>

青井陽治 Yoji Aoi

(構成・演出/Composition, Production)

69年に劇団四季に入り、ジロドウ、アヌイ、シェイクスピアなどの劇団レパートリー作品、「ウエスト・サイド

物語」『ジーザス・クライスト=スーパースター』などミュージカルの初演に出演。同時に翻訳・訳詞・劇作のチャンスを与えられる。

76年よりフリーとなり、以降、海外戯曲・ミュージカルの上演、創作に独自の世界を築く。近年は、次世代の演劇人育成のために、演劇教育にも積極的に携わる。

主な翻訳・演出作品に、『ラヴ・レターズ』『ヘドウィグ・アンド・アングリーインチ』『42nd Street』『GODSPELL』『海の上のピアニスト』『真夜中のパーティ』、ニール・サイモンのBB三部作『ブライTON・ビーチ回顧録』『ピロクシー・ブルース』『ブロードウェイ・バウンド』などがある。

一本茂樹 Shigeki Ippon (ベース/Bass)

東京芸術大学卒業と同時にプロとして活動始める。CMやTV、J-POPのアーティストなど数多くのレコーディングに参加するほか、舞台、コンサート等でも幅広く活躍している。



佐藤芳明 Yoshiaki Sato (アコーディオン/Accordion)



国立音楽大学在学中に独学でアコーディオンを始める。

1995年に渡仏、C.I.M.Ecole de Jazz にてDaniel Milleに師事。

ライブ、レコーディング、舞台音楽など、様々な現場で数多くの仕事をこなし、国内外を問わず、ジャンルを越えて幅広く活動。

阪本純志 Junji Sakamoto

(パーカッション/Percussion)

大阪芸術大学演奏学科打楽器専攻卒業。現在はドラムセットを中心にLIVEやコンサート、ミュージカルなどで活動中。スウィングバンドKINGCOLUMBIA、打楽器エンターテインメントFUNCUSSIONメンバー。



【コーラス】

田中 研 Ken Tanaka

東京生まれ。現在主に劇版のコーラスとして活動している。2010年7月に公開された踊る大捜査線 THE MOVIE 3 〜ヤツらを解放せよ〜では、ソロボーカルとして湾岸署歌を担当。フジメロより着うた配信される。



上原理生 Rio Uehara

東京藝術大学音楽部声楽科卒業。在学中にオペラ「ドン・ジョヴァンニ」ドンジョヴァンニ役で出演。2011年4月には帝劇開場100周年記念公演「レ・ミゼラブル」のアンジョルラス役で、9~10月にはミュージカル「ロメオ&ジュリエット」のティボルト役で出演。2012~2013年には「ミス・サイゴン」のジョン役で出演が決まっている。



堺 裕貴 Yuki Sakai

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。オペラ「ラ・ボエーム」コッリーネ、オペレッタ「こうもり」フランク役等で出演。ボーカルグループ「ザ・ベルカントシンガーズ」にも出演し幅広い分野で活動中。ロシア音楽の研鑽も積み2011年ロシア文化と音楽のフェスティバルに出演。現在NPO法人童謡コーラス支援事務局 埼玉支部指導員



時を超える岩谷時子の詞に、鮫島有美子が新しい命を吹き込んだ。

鮫島有美子/アマリア ~岩谷時子の世界~

- ①ラストダンスは私に②ある愛の詩③オー・シャンゼリゼ
④汐風の中で⑤旅人よ⑥ウナ・セラ・ディ東京⑦アマリア
⑧夜明けのうた⑨セ・シ・ボン⑩家へ帰るのが怖い

⑪百万本のバラ⑫いいじゃないの幸せならば

■COCQ-83802 ¥3,000(税込) 宮川彬良編曲・指揮 室内アンサンブル
録音:2004年1月、4月 コロムビア・スタジオ